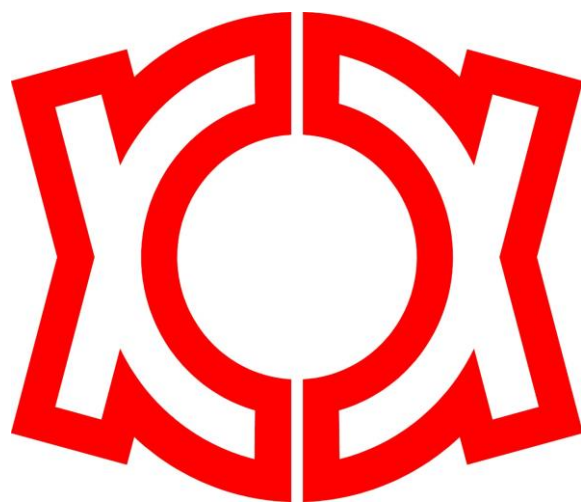




# エコアクション21 環境経営レポート

2019 年度版

(運用期間 2019 年 4 月～2020 年 3 月)



2020 年 6 月 1 日発行

## 大高建設株式会社

# 目 次

1	環境経営方針	1
2	会社概要	2
3	認証登録の範囲	3
4	環境経営目標	3
5	環境経営計画	4
6	環境経営目標の実績	5
7	環境経営計画の取組結果とその評価および 次年度の取り組み	6
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	8
9	代表者による全体評価と見直しの結果	8

# 1 環境経営方針

## 経営理念

顧客の期待に応え 技術の真髄を追求し  
品質と安全を確保し 社員に幸せを与え  
地域社会に貢献する

## 環境方針

### 【基本理念】

大高建設は、地域に貢献する建設会社として、積極的に環境経営に取り組み、環境保全に努めることにより、環境経営の継続的改善に努める

### 【行動指針】

- 環境保全の重要性を深く認識し、事務所および建設現場における二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・排水量の削減に努めます。
- 物品・資材のグリーン購入を促進するとともに、環境に配慮した計画・設計を提案し、環境負荷の低減に資する工法や作業を採用します。
- 地域社会における環境保全活動に積極的に参加します。
- 適用される環境関連法規を把握し、それらを遵守します。
- 具体的な環境目標および環境活動計画を設定し、全員で共有します。

2019年4月1日

大高建設株式会社  
代表取締役

大木 孝一郎

## 2 会社概要

(1) 事業所名 大高建設株式会社  
代表者名 代表取締役 大木 孝一郎

(2) 所在地 〒812-0006  
福岡県福岡市博多区上牟田1丁目29番6号

(3) 事業内容 建築および土木の設計ならびに施工  
URL <http://www.o-taka.com>

(4) 事業規模

事業年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高(百万円)	4,916	2,585	4,772
従業員数(人)	43	47	46
床面積(m <sup>2</sup> )	1,457.09	1,457.09	1,457.09

(5) 事業年度 4月～翌3月

(6) 設立年月日 1975年3月25日

(7) 資本金 9,500万円

(8) 建設業の許可 福岡県知事許可 (特-28) 第5790号  
建築工事・土木工事・大工工事・左官工事・とび工事・土工工事・  
石工事・屋根工事・タイル工事・れんが工事・ブロック工事・鋼構  
造物工事・鉄筋工事・ほ装工事・板金工事・ガラス工事・塗装工事  
・防水工事・内装仕上工事・熱絶縁工事・造園工事・建具工事

(9) 建築士事務所登録  
大高建設株式会社一級建築士事務所  
福岡県知事登録 第1-10690号

(10) 環境管理責任者 取締役建築本部長 濱田 幸弘  
TEL : 092-414-2222 FAX : 092-414-2226  
E-mail: [t.miyazaki@o-taka.com](mailto:t.miyazaki@o-taka.com)

### 3 認証登録の範囲

・当社の全組織(本社)・全活動を認証登録の範囲とします。

- (1) 対象事業所            本社
- (2) 対象事業活動        建築工事・土木工事・大工工事・左官工事・とび工事・土工工事・  
石工事・屋根工事・タイル工事・れんが工事・ブロック工事・鋼構  
造物工事・鉄筋工事・ほ装工事・板金工事・ガラス工事・塗装工事  
・防水工事・内装仕上工事・熱絶縁工事・造園工事・建具工事

### 4 環境経営目標 (2019 年度)

・当社は 2015 年度の環境負荷の実績を基準として、サイト別に 6 項目 8 目標の環境目標を設定し、2019 年度 (単年度目標) と 2020 年度 (中期目標) の数値目標を以下のとおり定めました

環境目標	単位	サイト 区分	基準年 2015 年度 実績値	単年度目標	中期目標
				2019 年度 (2019. 4～2020. 3)	2020 年度 (2020. 4～2021. 3)
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	全社	217,657	208,951 (▲4%)	206,774 (▲5%)
		事務所	205,904	197,668 (▲4%)	195,609 (▲5%)
		現場	11,753	11,283 (▲4%)	11,165 (▲5%)
2 廃棄物排出量の削減	t	全社	1,957	1,937 (▲1%)	1859 (▲5%)
3 水使用量の削減	m <sup>3</sup>	事務所	282	276 (▲2%)	268 (▲5%)
4 グリーン購入の促進	% (購入額比率)	事務所	50	50	50
5 設計・施工における環境配慮の推進	件	全社	8	8	8
6 社会貢献の推進 (地域ボランティア活動参加)	人	全社	10	10	10

備考) ・ ( ) は基準年に対する削減率を示す。

- ・ 購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力㈱の 2018 年度実排出係数 (0.347 kg-CO<sub>2</sub>/kWh) を適用している。
- ・ 目標達成率が 100%未達のときは、100%以上になるまでその年の目標を来年度に引き継ぐ。

## 5 環境経営計画（2019年度）

・当該期間の環境経営目標を達成するために、次のような環境活動を実施しました

No.	環境目標	取組目標	主要活動項目	主管部署
1	二酸化炭素総排出量の削減	① 電気使用量 4%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内温度管理の実施 (冷房期 28℃、暖房期 26℃)</li> <li>・事務所昼休み時の消灯</li> <li>・省エネルギー型照明器具への切替</li> </ul>	全部門
		② 燃料消費量 (ガソリン、軽油) 4%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの実施</li> <li>・社有車に低燃費車採用</li> </ul>	全部門 全作業所
2	廃棄物総排出量の削減	① 一般廃棄物 1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可燃ごみ排出量の把握</li> <li>・コピー用紙使用量の把握</li> </ul>	全部門
		② 産業廃棄物 1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場での廃棄物発生抑制</li> <li>・マニフェスト管理の徹底</li> </ul>	全作業所
3	水使用量の削減	① 水使用量 2%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な節水活動の推進</li> </ul>	事務所
4	グリーン購入の促進	① グリーン購入率 50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン商品の積極的購入</li> <li>・省エネルギー基準適合製品の購入促進</li> </ul>	全部門
5	設計・施工における環境配慮	① 省エネ設計の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ・省資源化の指向</li> </ul>	設計部
		② 環境配慮施工の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低負荷施工機械の選定</li> <li>・化学物質の適正管理 (SDSに基づく現場使用の指導)</li> </ul>	建築部
6	社会貢献の推進	① 地域ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の清掃活動への参加推進</li> </ul>	全部門 全作業所

備考) ・活動責任者が担当者を兼任する。

## 6 環境経営目標の実績（2019年度）

- ・2019年度運用期間中の環境目標に対する実績は次のとおりであり、6項目8目標のうち廃棄物排出量と現場での二酸化炭素排出量以外の5項目6目標は目標を達成出来ました。
- ・廃棄物排出量の大幅な増加は、解体工事の受注によるものであり、一時的な要因と考えています。

環境目標	単位	サイト区分	基準年 2015年度 実績値	2019年度 (2019.4~2020.3)		目標 達成率	達成 状況 評価
				目標	実績		
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	全社	217,657	208,951 (▲4%)	162,610	128.5%	◎
		事務所	205,904	197,668 (▲4%)	123,698	159.8%	◎
		現場	11,753	11,283 (▲4%)	38,912	30%	×
2 廃棄物排出量の削減	t	全社	1,957	1,937 (▲1%)	6,995	27.7%	×
3 水使用量の削減	m <sup>3</sup>	事務所	282	276 (▲2%)	249	110.8%	○
4 グリーン購入の促進	% (購入額比率)	事務所	50	50	65.4	128%	◎
5 設計・施工における環境配慮の推進	件	全社	8	8	9	112.5%	○
6 社会貢献の推進 (地域ボランティア活動参加)	人	全社	10	10	12	120%	◎

備考)・達成状況の評価区分

◎：120%≦目標達成率 ○：100%≦目標達成率<120% △：80%≦目標達成率<100% ×：目標達成率<80%

・目標達成率の計算

削減目標の場合：目標÷実績×100、増加目標の場合：実績÷目標×100





#### (4) グリーン購入の促進

- ・事務用品を中心にグリーン購入率が高かった。今後とも積極的にグリーン購入に努める。



グリーン商品（コピー用紙）



グリーン商品（ネームランド）

#### (5) 設計・施工における環境配慮の推進

- ・事務所および作業所において、省エネ設計・環境配慮施工を実施している。
- ・環境負荷の少ない建築材料を積極的に使用している。



LED 照明の使用



冷凍庫に断熱材を使用して  
空調負荷を軽減

#### (6) 社会貢献の促進

- ・近隣周辺の清掃活動は実施できている。
- ・地域貢献活動については社員全員に参加を呼び掛けることで、目標を達成した。
- ・今後も引き続き呼びかけを行う。



2019年6月22日（土）、JA福岡市  
東部豊穰会が主催した海の中道ボラ  
ンティア清掃活動



2019年11月16日（土）、福岡県建  
設業協会主催の社会貢献活動（天神  
地区清掃活動）

## 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、法令違反はありませんでした。
- ・また、関係機関や利害関係者等からの違反の指摘や訴訟も過去 3 年間ありませんでした。

### 遵守している主な法律

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)
- ・労働安全衛生法
- ・資源有効利用促進法
- ・オフロード法
- ・オゾン層保護法
- ・フロン排出抑制法
- ・建築基準法
- ・学校環境衛生の基準
- ・騒音規制法
- ・振動規制法
- ・省エネ法

## 9 代表者による全体評価と見直しの結果

### (1) 取組の全体評価

- ・環境への取組については、環境経営方針ならびに環境経営目標の達成にむけて項目ごとに適切に実施されています。
- ・環境経営目標の達成状況については、ばらつきはあるもののほぼ達成できており、今後も年度目標の達成につなげていきます。
- ・環境経営システムについては、概ね有効に機能していますが引き続き運用状況を検証していきます。

### (2) 見直しの結果

- ・厳しい経営環境のなかで、取組全体としては概ね良好であるが、目標と実績の差が大きい項目があるため、中期目標の終了後に環境目標の見直しを行う。